Jiyoye

300366

□要

□明

□ヨイエ細胞株は、ヒトバーキットリンパ腫に由来するモデルとして広く研究されている。バーキットリンパ腫は、主に B細胞を侵す非ホ□キンリンパ腫の一種であり、□ヨイエ細胞株はこの悪性腫瘍の主要な特徴の多くを保持している。この細胞はバーキットリンパ腫の特徴である c-MYC遺伝子座と免疫グロブリン遺伝子座の間の典型的な染色体転座を示す。この転座はc-MYC癌遺伝子の過剰発現につながり、腫瘍細胞の増殖性と攻撃性を促進する。このようなことから、 □ヨイエ細胞株は、リンパ腫発生の根底にある分子的・遺伝的メカニズム、特にMYCを駆動源とする癌を研究するための貴重なツールである。
□ヨイエ細胞は懸濁液中で増殖し、高い増殖率を特徴とするため、薬剤スクリーニング、遺伝子発現研究、アポトーシスアッセイなど、さまざまな実験的応用に適している。この細胞株は、エプスタイン・バー・ウイルス（EBV）に焦点を当てた研究にも頻繁に使用されている。 □ヨイエを含むバーキットリンパ腫細胞は、しばしばこのウイルスを保有しており、このウイルスはこの疾患の病因に関与している。このことは、 B細胞悪性腫瘍におけるウイルスのがん遺伝子と細胞経路の相互作用を研究する上で、 □ヨエを特に有用な存在にしている。
その起源と特徴を考えると、□ヨイエ細胞株は腫瘍学的研究、特にB細胞リンパ腫の病態生理学を理解する上で重要なモデルである。

ティッシュ	リンパ系
病気	B細胞性非ホ□キンリンパ腫
転移部位	Bリンパ球

用途

B細胞表面抗原の分析、細胞傷害性薬剤のテスト、突然変異分析、アポトーシス機構の分析、ハプロタイプ標準。

同義語

- JIYOYE
- Jijoye
- JIJOYE
- P-2003
- P3 (Jiyoye)
- P-3-Jijoye
- P3-Jiyoye
- P-3J
- P3J
- Jiyoye(P-2003)
- Jiyoye (P-2003)
- JiyoyeP-2003
- OB2
- GM04678

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	サスペンション
バイオセーフティレベル	1

特徴

細胞の種類	Bリンパ球

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

核型

46、低倍数体

識別子

引用

□ヨエ（サイシオン カタログ番号 300366）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1317

発現と感受性

抗原発現

CD10+ ′ CD19

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640 ′ w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

継代培養

培地を定期的に追加または交換して培養を維持する。培養開始時の細胞密度は 5×10⁵細胞/mlとし、最適な増殖のため細胞濃度を3×10⁵～1×10⁶細胞/mlの範囲に保つ。

播種密度	3 × 10⁵ 細胞/ml
流体の更新	週2～3回
解凍後の回復	速い（48時間）

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	7年
民族	アフリカ人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB